

小6

◆政治・外交史(2)◆

小6上巻16回

氏名

得点

各10点
400点

1	1338年に()は征夷大將軍となり、室町幕府を開いた。		
2	將軍を補佐する役職は鎌倉幕府では執権、室町幕府では(①)という。江戸幕府では(②)という。	①	②
3	南北朝の内乱の頃に、守護は幕府から色々な権限を与えられ、支配力を強めた。このような守護を()という。		
4	1392年に室町3代將軍の()は、南北朝の合一を実現した。		
5	室町幕府が倭寇の取り締まりをきっかけに中国と行った貿易を(①)貿易という。船を区別するための「合い札」を(②)という。	①	②
6	問5の貿易は、堺や九州の(①)を貿易港として栄えた。中国からは永楽通宝などの(②)や生糸などを輸入していた。	①	②
7	<p>応仁の乱について誤っているものを記号で答えよ。</p> <p>ア、8代將軍足利義政の時に起こった。</p> <p>イ、京都で11年にも及ぶ戦いをおこなった。</p> <p>ウ、東軍は細川勝元、西軍は山名持豊が中心だった。</p> <p>エ、足利義政は乱の前までは、銀閣を建てるなど権力をふるっていた。</p>		
8	1543年、九州の(①)島に(②)人を乗せた中国船が流れ着き、鉄砲が伝えられた。	①	②
9	1549年、九州の(①)島にスペイン人の(②)という人物が来て、キリスト教を伝えた。	①	②
10	戦国大名はそれぞれ()を定め、自分の国を治めた。		
11	織田信長は1560年に(①)の戦いで今川義元を破った。また1573年には、室町15代將軍の(②)を追放し、室町幕府を滅した。	①	②

12	織田信長と徳川家康の連合軍が、鉄砲を有効に 使って、武田勝頼の軍を破ったとされる戦いは () である。		
13	織田信長は城下町の商業を自由にして活発にする ため、() の政策を行った。		
14	織田信長は琵琶湖のそばに(①)という城を築 き、豊臣秀吉は石山本願寺あとに(②)という 城を築いた。	①	②
15	豊臣秀吉は1590年に、() という城を本拠 とする戦国大名の北条氏をほろぼし、全国統一 を実現した。		
16	豊臣秀吉は大名に全国の田畑の面積と石高を調 べさせる(①)をおこなった。また一揆を防止 するため、農民の武器をとりあげる(②)を命 じた。	①	②
17	問16のような、武士と百姓の身分を区別する政 策を() という。		
18	豊臣秀吉は、国内の統一後に朝鮮出兵を行っ た。一度目の出兵を(①)の役、2度目を (②)の役という。	①	②
19	(①)年に、徳川家康らと石田三成らの間で 「天下分け目の戦い」と言われる(②)がおこ った。	①	②
20	徳川家康は大名や大商人たちに() という貿 易許可証を与え、東南アジアで盛んに貿易を行 なった。		
21	1615年、江戸幕府2代将軍(①)のときに、 大名が守るべききまりとして(②)を制定し た。	①	②
22	江戸幕府は大名を親藩、(①)大名、(②)大 名の3種類に分け、全国に配置した。	①	②
23	江戸幕府3代将軍(①)のときの1635年に、 (②)の制度が始まり、大名の経済力を弱める 結果になった。	①	②
24	1637年、九州でキリシタン農民による() という反乱が起きた。		

25	1639年、幕府は(①)船の来航を禁止して鎖国が完成した。その後は長崎では、中国と(②)だけが貿易を行った。	①	②
26	徳川家康のときに朝鮮との国交は回復し、その後は将軍の代替わりごとに()が来日した。		
27	6、7代将軍に仕えて、「正徳の治」と呼ばれる政治を行った儒学者は()という人物である。		
28	朝鮮との交易は(①)藩を通じて、アイヌ民族との交易は(②)藩を通じて行われた。	①	②
29	8代将軍・徳川吉宗は、庶民の意見を取り入れるために(①)を設置した。また裁判の基準を明確にするため、(②)を定めた。	①	②
30	株仲間を積極的に認めた老中は(①)であり、禁止した老中は(②)である。	①	②
31	白河藩出身の老中・松平定信は、()の改革をおこない、幕府の政治を立て直そうとした。		
32	松平定信は幕府の学問所で(①)以外の学問を禁じた。またききに備えて「(②)の制」を命じ、米の備蓄をさせた。	①	②
33	1837年に幕府が直接治めている大阪で、元幕府の役人だった()が乱を起こし、幕府を驚かせた。		
34	19世紀に入ると、日本近海に外国船が次々に出現し、事件が相次いだ。1825年に幕府は()を出し、外国船の撃退を命じた。		
35	1853年にペリー率いるアメリカ艦隊が、浦賀に来航した。ペリーは開国を要求し、翌年()という条約を結んだ。		
36	大老の(①)は、幕府を批判する吉田松陰らを処罰した。これを(②)という。	①	②
37	1858年にアメリカと(①)という条約を結び、横浜・神戸・函館・長崎・(②)を開港することを決めた。	①	②

38	問37の条約は日本に不利な不平等条約だった。輸入品の税率を自由に決定する(①)がなく、外国人が犯罪を犯した時に、外国の法律で裁判をできる(②)を認める、という内容だった。	①	②
39	開国後の貿易では、主に(①)を相手国に、横浜港から(②)と茶を輸出した。	①	②
40	1867年に江戸幕府15代将軍()は、政権を朝廷に返上した。これを大政奉還という。		

小6

◆政治・外交史(2)◆

小6上巻16回

氏名

満点とれ太

得点

各10点
400点

1	1338年に()は征夷大將軍となり、室町幕府を開いた。	あしかがたかうじ 足利尊氏	
2	將軍を補佐する役職は鎌倉幕府では執権、室町幕府では(①)という。江戸幕府では(②)という。	かんれい ①管領	ろうじゅう ②老中(臨時の最高職は大老)
3	南北朝の内乱の頃に、守護は幕府から色々な権限を与えられ、支配力を強めた。このような守護を()という。	しゅごだいみょう 守護大名	
4	1392年に室町3代將軍の()は、南北朝の合一を実現した。	あしかがよしみつ 足利義満	
5	室町幕府が倭寇の取り締まりをきっかけに中国と行った貿易を(①)貿易という。船を区別するための「合い札」を(②)という。	にちみん かんごう ①日明(勘合)	かんごう ふ ②勘合(符)
6	問5の貿易は、堺や九州の(①)を貿易港として栄えた。中国からは永楽通宝などの(②)や生糸などを輸入していた。	はかた ①博多	みんせん ②明銭
7	応仁の乱について誤っているものを記号で答えよ。 ア、8代將軍足利義政の時に起こった。 イ、京都で11年にも及ぶ戦いをおこなった。 ウ、東軍は細川勝元、西軍は山名持豊が中心だった。 エ、足利義政は乱の前までは、銀閣を建てるなど権力をふるっていた。	エ(義政が銀閣を建てたのは乱の後である)	
8	1543年、九州の(①)島に(②)人を乗せた中国船が流れ着き、鉄砲が伝えられた。	たねが ①種子	②ポルトガル
9	1549年、九州の(①)島にスペイン人の(②)という人物が来て、キリスト教を伝えた。	かご ①鹿兒	②フランシスコ=ザビエル
10	戦国大名はそれぞれ()を定め、自分の国を治めた。	ぶんこくほう 分国法	
11	織田信長は1560年に(①)の戦いで今川義元を破った。また1573年には、室町15代將軍の(②)を追放し、室町幕府を滅した。	おけはざま ①桶狭間	あしかがよしあき ②足利義昭

12	織田信長と徳川家康の連合軍が、鉄砲を有効に使って、武田勝頼の軍を破ったとされる戦いは（ ）である。	ながしの たたか 長篠の戦い	
13	織田信長は城下町の商業を自由にして活発にするため、（ ）の政策を行った。	らくいちらくぎ 楽市楽座	
14	織田信長は琵琶湖のそばに（①）という城を築き、豊臣秀吉は石山本願寺あとに（②）という城を築いた。	あづちじょう ①安土城	おおさかじょう ②大阪城
15	豊臣秀吉は1590年に、（ ）という城を本拠とする戦国大名の北条氏をほろぼし、全国統一を実現した。	おだわらじょう 小田原城	
16	豊臣秀吉は大名に全国の田畑の面積と石高を調べさせる（①）をおこなった。また一揆を防止するため、農民の武器をとりあげる（②）を命じた。	たいこう けんち ①（太閤）検地	かたながり れい ②刀狩（令）
17	問16のような、武士と百姓の身分を区別する政策を（ ）という。	へいのうぶんり 兵農分離	
18	豊臣秀吉は、国内の統一後に朝鮮出兵を行った。一度目の出兵を（①）の役、2度目を（②）の役という。	ぶんろく ①文禄	けいちょう ②慶長
19	（①）年に、徳川家康らと石田三成らの間で「天下分け目の戦い」と言われる（②）がおこった。	① 1600	せきがはら たたか ②関ヶ原の戦い
20	徳川家康は大名や大商人たちに（ ）という貿易許可証を与え、東南アジアで盛んに貿易を行った。	しゅいんじょう 朱印状	
21	1615年、江戸幕府2代将軍（①）のときに、大名が守るべききまりとして（②）を制定した。	とくがわひてただ ①徳川秀忠	ぶ けしよはっと ②武家諸法度
22	江戸幕府は大名を親藩、（①）大名、（②）大名の3種類に分け、全国に配置した。	ふだい ①譜代	とざま ②外様
23	江戸幕府3代将軍（①）のときの1635年に、（②）の制度が始まり、大名の経済力を弱める結果になった。	とくがわいえみつ ①徳川家光	さんきんこうたい ②参勤交代
24	1637年、九州でキリシタン農民による（ ）という反乱が起きた。	しまばら あまくさいっき 島原・天草一揆	

25	1639年、幕府は(①)船の来航を禁止して鎖国が完成した。その後は長崎では、中国と(②)だけが貿易を行った。	①ポルトガル	②オランダ
26	徳川家康のときに朝鮮との国交は回復し、その後は将軍の代替わりごとに()が来日した。	ちょうせんつうしんし 朝鮮通信使	
27	6、7代将軍に仕えて、「正徳の治」と呼ばれる政治を行った儒学者は()という人物である。	あらいはくせき 新井白石	
28	朝鮮との交易は(①)藩を通じて、アイヌ民族との交易は(②)藩を通じて行われた。	①つしま 対馬	②まつまえ 松前
29	8代将軍・徳川吉宗は、庶民の意見を取り入れるために(①)を設置した。また裁判の基準を明確にするため、(②)を定めた。	①めやすばこ 目安箱	②くじかたおさだめがき 公事方御定書
30	株仲間を積極的に認めた老中は(①)であり、禁止した老中は(②)である。	①おきつぐ 田沼意次	②みずのただくに 水野忠邦
31	白河藩出身の老中・松平定信は、()の改革をおこない、幕府の政治を立て直そうとした。	かんせい 寛政	
32	松平定信は幕府の学問所で(①)以外の学問を禁じた。またききんに備えて「(②)の制」を命じ、米の備蓄をさせた。	①しゅしがく 朱子学	②かこいまい 囲米
33	1837年に幕府が直接治めている大阪で、元幕府の役人だった()が乱を起こし、幕府を驚かせた。	おしおへいはちろう 大塩平八郎	
34	19世紀に入ると、日本近海に外国船が次々に出現し、事件が相次いだ。1825年に幕府は()を出し、外国船の撃退を命じた。	いこくせん がいこくせん うちほらいれい 異国船 (外国船) 打払令	
35	1853年にペリー率いるアメリカ艦隊が、浦賀に来航した。ペリーは開国を要求し、翌年()という条約を結んだ。	にちべいわしんじょうやく 日米和親条約	
36	大老の(①)は、幕府を批判する吉田松陰らを処罰した。これを(②)という。	①い いなおすけ 井伊直弼	②あんせい たいごく 安政の大獄
37	1858年にアメリカと(①)という条約を結び、横浜・神戸・函館・長崎・(②)を開港することを決めた。	①にちべいしゅうこうつうしょうじょうやく 日米修好通商条約	②にいがた 新潟

38	問37の条約は日本に不利な不平等条約だった。輸入品の税率を自由に決定する(①)がなく、外国人が犯罪を犯した時に、外国の法律で裁判をできる(②)を認める、という内容だった。	<small>かんぜいじしゅけん</small> ①関税自主権	<small>りょうじさいばんけん</small> ②領事裁判権 <small>ちがいほうけん</small> (治外法権)
39	開国後の貿易では、主に(①)を相手国に、横浜港から(②)と茶を輸出した。	①イギリス	<small>きいと</small> ②生糸
40	1867年に江戸幕府15代将軍()は、政権を朝廷に返上した。これを大政奉還という。	<small>とくがわよしのぶ</small> 徳川慶喜	